



日本語でよく使う「オーケー」ということばは、どんな英語なの

「オーケー」は英語でOK

わたしたちは、ふだんの会話のなかで、「オーケー」ということばをよく使います。これはもともと英語からきたことばです。英語では、OKまたはO.K.と書きます。「よろしい」「けっこうです」「だいじょうぶ」などの意味です。

アメリカ人も、このOKということばをよく使います。ただし、発音がちがいます。「ケ」を強く発音して、「オウケイ」といいます。「オッケー」や「オーケー」とは発音しないので注意しましょう。

OKの語源は、all correct（すべてよし）と書くべきところを、まちがえて all korrek とつづったときの頭文字だといわれていますが、別の説もあり、はっきりしていません。

「オーケー」のジェスチャー

わたしたちは、仕事などがうまくいったときなどに、「うまくいった」「かんぺきだ」などを表すジェスチャーとして、親指と人差し指でをつくって、表すことがあります。

親しい友だちどうしで、このジェスチャーをするのはかまいませんが、正式な場所や目上の人にするのは失礼になります。

「オーライ」も英語からきたことば

わたしたちは、OKと同じような意味で、「オーライ」ということばを使います。この「オーライ」も英語からきており、英語ではall rightと書きます。「いいですよ」「しょうちしました」などの意味で使います。

「だいじょうぶだよ」の意味で使うときは、OKでも all rightでもかまいません。

(臥 修 ・ 田 代 脩)

